

第1学年2組 音楽科学習指導案

指導者 山口 ひとみ

1. 題材名 混声合唱の響き 教材名「朝の風に」

2. 目標

共に歌い合わせる楽しさや喜びを感じて、表現を工夫したり、合唱表現したりする。

3. 生徒と題材

男子17名、女子18名、合計35名のクラスである。明るく元気に活動する生徒が多く、音楽の学習においても、表現活動に意欲的に取り組む姿が見られる。歌唱に対するアンケートでは、「歌うことが楽しい、またはとても楽しい」と感じている生徒が24名であった。主に「歌うとすっきりする」「歌うことが好き」「みんなで歌うと楽しい」という理由が挙げられた。反対に「歌うことがどちらかといえば楽しくない、または楽しくない」という生徒が3名であった。「声の出し方がわからない」「音はずれるから恥ずかしい」というのがその理由であった。中学1年生という時期から考え、変声期をむかえようとしている男子生徒への配慮、女子の頭声発声への移行を促す具体的な指導助言が必要と考える。またいつでも安心して声を出せる環境作りにも気をつけながら指導する必要がある。

合唱は歌うことの楽しさや心地よさが味わえる身近な題材である。大きな声で元気に歌う曲を得意としてきたクラスであるが、この教材で中学生になって本格的に混声二部合唱に取り組む。混声合唱の美しさや楽しさをたくさん味わいながら、合唱する能力を伸ばしていきたい。また、生徒一人一人が自分の力を出しきり、さらに、人とかかわりの中で声を合わせる喜びやみんなで音楽をつくる楽しさをたくさん経験させ、合唱コンクールでの意欲的な取り組みへつなげていきたい。

「朝の風に」は、斉唱と混声二部合唱との組み合わせの曲である。混声合唱の部分ではまず男声の主旋律で曲が始まり、女声へ主旋律が移る。それらの響きの違いを感じ取りながら混声二部合唱の導入を行うことができる。声の響きから見ると、どの部分も1年生前半時期に適切な音域であり、声の響きづくりも無理なく行うことができる。また、すべてのフレーズが弱起になっており、全体を通して柔らかな雰囲気を感じ

じさせる。その柔らかなリズムに気づいたり、言葉の表現にあう歌い方を工夫したりすることで表現の工夫もできる。このようなことから、混声二部合唱の導入曲としてふさわしいと考え、選曲した。

これまでの学習は斉唱の曲がほとんどであったが、その中で音程をしっかりとつかんで歌うことや響きのある声づくりを中心に指導してきた。この題材では一步踏み込み、曲の盛り上がりや強弱の変化に気づき、表現を工夫するところまで取り組ませたいと考えている。また、合唱コンクールの学級合唱曲の練習曲と考え、みんなで協力して曲を仕上げる体験をさせたい。そのため、パートリーダーなどの役割も部分ごとに取り入れながら進めていきたいと考えている。

まず歌詞を読ませたり、範唱CDを聴いたりして曲やめあてとする合唱のイメージを持たせたい。このイメージが曲作りでの豊かな表現につながると考えるからである。ここでは「朝の風」「かがやく風の歌」「希望に満ちて」など、さわやかさや明るさを感じさせる言葉に注目させたり、言葉の表現に合った柔らかな歌い方に気づくような助言をしていきたい。

音取り、パートごとの練習では、安心して歌えるようになるまで教師がリーダーとなり、そのあとでパートリーダーを中心とした活動を取り入れたい。変声期や発声方法の転換期を迎える時期でもあるので、このことをお互いに理解させ、無理のない指導を心がけたい。また、教師が聴き役となり、一人一人の声を聴きながら、実態にあった助言をしていきたい。

二部合唱するときには、イメージを膨らませた歌唱や言葉の表現に合った歌い方の工夫を心がけさせたい。そのために、自分のイメージを発表したり歌詞の中から一番の盛り上がりを見つけ合ったりする場や、自分たちの合唱を聴き、もっと工夫できることはないか話し合いをしたりする場の設定する。ここではパートリーダーが話し合いを進めていく。そして最終的には1つの曲をみんなで作り上げていく楽しさや喜びを味わわせていきたい。

4. 学習活動と評価計画（総時数4時間）

				題材の評価規準				使用する教材	
				(ア)音楽への関心・意欲・態度	(イ)音楽的な感受や表現の工夫	(ウ)表現の技能	(エ)鑑賞の能力	「朝の風に」	
				他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、合唱表現に意欲的に取り組もうとしている。	他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、合唱表現を工夫しようとしている。	他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、合唱表現をする技能を身につけている。	他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、表現活動にかせる要素を見出しながら聴いている。		
				学習活動における評価基準（評価の方法） 主なもの				十分満足できると判断できる視点	努力を要する生徒への手だて
時数	学習のねらい	学習形態	主な学習活動	(ア)音楽への関心・意欲・態度	(イ)音楽的な感受や表現の工夫	(ウ)表現の技能	(エ)鑑賞の能力		
2	発声や発音に気をつけて、自分のパートを正しい音程で歌えるようにする。	一 斉 グループ	既習曲をのびのびと歌い、歌いやすい雰囲気作りをする。 歌詞を読み、イメージ作りをする。 合唱曲の各パートの音取りをする。 ・範唱 CD を聴き、一緒に歌う。	・きれいな響きを目指して進んで歌おうとしている。 (行動観察・学習カード)	・歌詞からイメージを作ることができる。 (行動観察・発言)			・活動に意欲的に取り組んでおり自分の声の響きを意識して歌ったり、周りの生徒へも積極的に歌うよう働きかけている。	・安心して声が出せるようにそばで一緒に歌ったり、周りの生徒に働きかけ、かかわりを持たせるようにする。
		一 斉 グループ	各パートの音程を確認し、パート練習をする。 ・伴奏に合わせて歌う			・のびのびとした発声で自分のパートの旋律を歌っている。 (行動観察)		・楽器を使わずに自分のパートの旋律を歌うことができる。	・歌おうとする意欲を持たせるようにし、そばで旋律を一緒に歌ったり、楽器で音取りをする。
2 本時 2 / 2	自分のパートの役割を意識しながら合唱したり表現の工夫を合唱にいかしたりすることができるようにする。	一 斉 グループ	各パートの音程を確認し、合唱する。 ・お互いのパートを聴きあう。 ・パートの役割を意識しながら合唱する。 ・音程がうまくとれていないところや難しい部分を取り上げて練習する。	・他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取っている。 (行動観察・発言)	・主旋律を意識しながら合唱している。 (行動観察)			・自分のパートの役割を把握し、フレーズを感じとって表現することができる。	・歌っている部分を楽譜でたどりながら、主旋律を歌っているパートを選ばせ確認させる。
		一 斉 グループ	よりよい合唱を目指し、表現を考えながら合唱する。 ・自分たちの合唱を録音し工夫点を話し合う。 ・表現の工夫を合唱で伝えられるよう練習し、再度録音する。	・自分たちの曲のイメージや曲の雰囲気をいかし、表現を工夫している。 (行動観察・歌唱表現)		・表現を豊かにするために必要なことを意識して聴くことができる。	・曲のイメージを言葉で表わすことができ、歌声で表現することができる。	・周りの生徒の意見を聴き、生声の表現にかせるよう、言葉を付け足してイメージを膨らませる。	

5. 本時の学習

(1) ねらい 曲のイメージを表現の工夫にいかし，合唱することができる。

(2) 学習活動の展開と評価

学習形態	生徒の学習活動	教師の支援	評価の観点と方法
<p>一 斉</p> <p>グループ (パート)</p> <p>一 斉</p>	<p>1. ウォーミングアップをする。</p> <p>2. 本時の学習課題を確認し，合唱曲の練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>1年2組の「朝の風に」をつくろう。</p> </div> <p>3. 合唱する。</p> <p>4. 録音する。</p> <p>5. イメージ豊かな合唱をするための工夫点はないか話し合う。</p> <p>6. 表現の工夫を合唱にいかせるよう練習する。</p> <p>7. 再び録音する。</p> <p>8. 本時の学習を振り返る</p>	<p>・歌いやすい雰囲気作りをするため，のびのびと歌うことができるように言葉をかける</p> <p>・響く声の出し方を意識できるように，姿勢や口の開き方について助言する。</p> <p>・うまく歌えないところがある場合は，そばで一緒に歌う。</p> <p>・安心して歌えるように，支援を必要とする生徒を把握し，一人一人にあった助言をする。</p> <p>・斉唱とは違う心地よさや楽しさが味わえることを説明し，意欲を喚起する。</p> <p>・一番盛り上げたいところはどこか，言葉を大事に歌いたいところはどこかなど，生徒達の思いを聞き，黒板に掲示する。</p> <p>・生徒達から工夫したいところが出てこないときは，曲のイメージを思い出させたり，教師が提案したりする。</p> <p>・曲に表情が出てくるように言葉をかけながら進める。</p> <p>・これまでのがんばりを賞賛し，さらに合唱コンクールまで意欲や期待感がふくらむように声をかけ，まとめる。</p>	<p>・イメージ豊かな合唱を目指し表現の工夫をしようと意欲的であるか。 (行動観察・発言)</p> <p>・表現の工夫をいかし合唱することができたか。 (行動観察・学習カード)</p>

